

ニカメイチュウに対する BHC3%粉剤の効果

1.各種薬剤との比較

2.撒布時期について

小阪和彦・葛西辰雄

ニカメイチュウの第 1 化期における BHC3%粉剤の撒布適期は田植時期を基準にするよりは、発蛾最盛期を基準にして決定すべきである即ち 1 回撒布の場合は発蛾最盛期より 2 週間乃至 3 週間目の間にあると考えられる。

この時期の幼虫の令期は 2 令に当たっている。しかし発蛾最盛期より後期の発蛾期間が長期間に及ぶ発生型の年では、発蛾量をも考慮して少々撒布時期を遅らすか、又は幾分第 1 回目の撒布時期を早め、その後第 2 回目の撒布が必要と思はれる。これは予察の成績を基礎にして行うべきである。尚第 1 化期の撒布適期は稲に被害が生じはじめた頃に当たっていることも附言する。

特に第 1 化期の BHC3%粉剤の撒布は早きに失するよりも少々遅きに失したものが効果の減退は少ないと考える。

第 2 化期の撒布適期は 1 回だけの撒布では充分その目的を達し得ない場合が多いので、2 回撒布を行うことが多くなる。したがって第 1 回目を食入防止を目的に発蛾最盛期に行い、第 2 回目を分散防止のため、第 1 回撒布 2 週間後に行うのが最も有効といえる。

早期栽培のニカメイチュウは特に注意を要し発蛾最盛期とその後 1 週間目の 2 回に行はなくては充分の効果は望めないと考えられる。